

番号	23	令和2年度公共事業再評価調書				担当課名	街路整備課				
事業名	街路整備事業				事業主体	静岡県					
箇所名	としけいかくどうろ 都市計画道路 やたこうばらせん 谷田幸原線 (幸原町工区)				市町名	三島市					
事業採択年度	平成 23 年度		計画期間	平成23年度 ~ 令和3年度							
用地着手年度	平成 23 年度		工事着手年度	平成 25 年度							
再評価理由※	再評価実施（H27）後5年間が経過した時点で継続中										
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～H30年度	R1年度	R2年度見込	計					
	3,700		2,796	144	307	3,247					
事業概要	<p>(1)事業目的 本路線は、国道1号と（都）三島駅北口線とを結ぶ延長3,660mの道路であり、（都）片浜池田線や（都）池田柵線と一体となり新東名高速道路・東名高速道路・国道1号ならびに国道246号に接続する市街地の環状道路の一部となっている。当地域では、市街地の骨格となる（都）三島裾野線や（都）三島駅北口線などの南北道路の整備は進んでいるものの、東西方向の道路について整備が遅れているため、既存の東西方向に向かう交通が南北軸の（都）三島裾野線や（都）三島駅北口線に集中し、渋滞が発生している。また、本路線周辺の生活道路に通過交通が入り込み、自転車や歩行者が関係する交通事故が発生するなど、歩行者等の安全性が確保されていない。 このため、本路線の整備を行うことで東西方向の通過交通を市街地内から迂回させ、渋滞緩和による交通の円滑化を図るとともに、安全で快適な歩行空間を創出するものである。</p> <p>(2)事業内容 （都）三島裾野線から（都）三島駅北口線に至る区間の道路の新設 延長：312m 道路幅員：27.0m、4車線、両側自転車歩行者道 （車道幅員3.25m×4、中央分離帯4.0m、自転車歩行者道幅員4.5m×2）</p>										
【視点1】 事業の 必要性	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 当地域周辺では、新東名高速道路（長泉沼津IC）、（都）片浜池田線及び（都）池田柵線が相次いで供用を開始し、物流関連産業が進出しているほか、三島市内では三ツ谷工業団地への企業進出や観光吊橋の営業開始により、雇用や住宅ニーズ、観光流動の増加が見込まれている。このような情勢の中、当該路線の完成への期待はより高まっている。</p> <p>(2)事業の投資効果 現時点（R2）の分析結果：費用便益比（B/C）=1.1、経済的内部収益率（EIRR）=4.9% 総便益（B）47.99億円 （走行時間短縮便益43.62億円、走行経費減少便益3.56億円、交通事故減少便益0.81億円） 総費用（C）41.65億円 （建設投資額42.93億円、維持管理費0.21億円、用地残存価値1.49億円）</p> <p>(3)事業の進捗状況（令和2年度末見込み） 【事業費】87.8% 3,247百万円/3,700百万円      【工事費】71.5% 309百万円/432百万円 【事業量】0.0% (供用延長)0m/312m      【用地面積】100% 8,544㎡/8,544㎡</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">継続が妥当</td> <td>・ 視点3による見直し後継続が妥当</td> <td>・ 継続は妥当ではない</td> </tr> </table>							評価	継続が妥当	・ 視点3による見直し後継続が妥当	・ 継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・ 視点3による見直し後継続が妥当	・ 継続は妥当ではない								
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>用地取得は令和2年度末に完了する見込みである。また、地元の期待も大きく今後も工事が順調に進捗していくことが見込めるため、令和3年度末の供用開始を予定している。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">評価</td> <td style="text-align: center;">継続が妥当</td> <td>・ 視点3による見直し後継続が妥当</td> <td>・ 継続は妥当ではない</td> </tr> </table>							評価	継続が妥当	・ 視点3による見直し後継続が妥当	・ 継続は妥当ではない
評価	継続が妥当	・ 視点3による見直し後継続が妥当	・ 継続は妥当ではない								
【視点3】 新たなコスト 削減・代替 案立案等の 可能性	<p>建設発生土の工事間流用（近隣の他工事）などにより、引き続きコスト削減を図っていく。</p>										
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を（継続）・中止）する。</p> <p>(2)理由 主要幹線道路間を結ぶ重要な路線であり、本路線の整備により市街地内外の移動が円滑になるとともに、都市内の安全性の向上につながることから、機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業である。さらに、費用対効果も見込まれ、用地買収や工事も順調に進捗しているため、事業を継続して早期の完成を図る。</p>										

## 都市計画道路 谷田幸原線(幸原町工区)

(「費用便益分析マニュアル」国土交通省 道路局 都市局 平成30年2月)

### 総括表

I) 総便益 B	47.99 億円
便益 = [評価期間内に当該路線を整備しなかった場合に発生する経費] - [評価期間内に当該路線を整備した場合に発生する経費]	
II) 事業費 C	41.65 億円
総費用 = [当該計画道路の建設投資額] + [当該計画道路の検討期間内に必要となる維持管理費]	
III) 費用便益比 B/C	1.1

### I) 総便益の算出

#### ①各種費用のR17<sup>\*1</sup>の便益

	走行時間費用 (億円/年)	走行経費 (億円/年)	交通事故損失額 (億円/年)	合計年間経費 (億円/年)
整備しなかった場合 A	301.08	96.63	21.53	419.23
整備した場合 B	298.88	96.44	21.49	416.80

便益 A-B	2.20 時間便益	0.19 走行便益	0.04 <sup>*2</sup> 事故減少便益	
-----------	--------------	--------------	------------------------------	--

- ・「時間便益」: 道路整備による走行時間短縮を賃金率等で金銭評価
- ・「走行便益」: 走行円滑化による燃費向上等に伴う走行経費節約を金銭評価
- ・「事故減少便益」: 道路整備により交通事故件数が減少し事故の社会費用が減少する評価

※1 交通需要推計の適用年次

※2 事故減少便益は「費用便益分析マニュアル(国土交通省)」の算定式により算出しており、条件によってはマイナス値になることもあるが、交通事故増加に繋がるものではない。

#### ②総便益の算出

供用後50年間を評価期間としているため基準年の年間経費に各年の割引率をかけ、便益を算出し、当該道路を整備しなかった場合とした場合の差を求め、総便益とする。

	走行時間短縮 便益(億円)	走行経費減少 便益(億円)	交通事故減少 便益(億円)	総便益 (億円)
総便益(R4~R53)	43.62	3.56	0.81	47.99 ...B

### II) 総費用

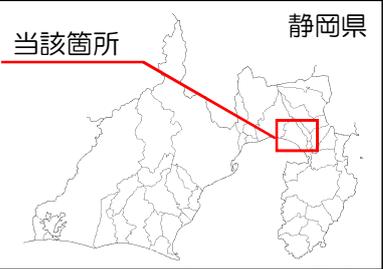
[総費用] = [建設投資額] + [維持管理費] - [用地費の残存価値]

建設費用 (億円)	建設投資額 (億円)	年間維持管理費用 (万円/年)	維持管理費 (億円)	用地残存価値 (億円)	総費用 (億円)
35.66	42.93	70.79	0.21	1.49	41.65 ...C

- ・「建設投資額」: 建設費用を算出基準年次の価値で評価するために各年度ごとに割引率をかけ、合計したもの。
  - ・「維持管理費」: 整備延長に対する年間維持管理費用に割引率をかけ、供用後50年間を合計したもの。
  - ・「用地費の残存価値」: 検討期間後の残存価値を現在価値化したもの。
- 表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

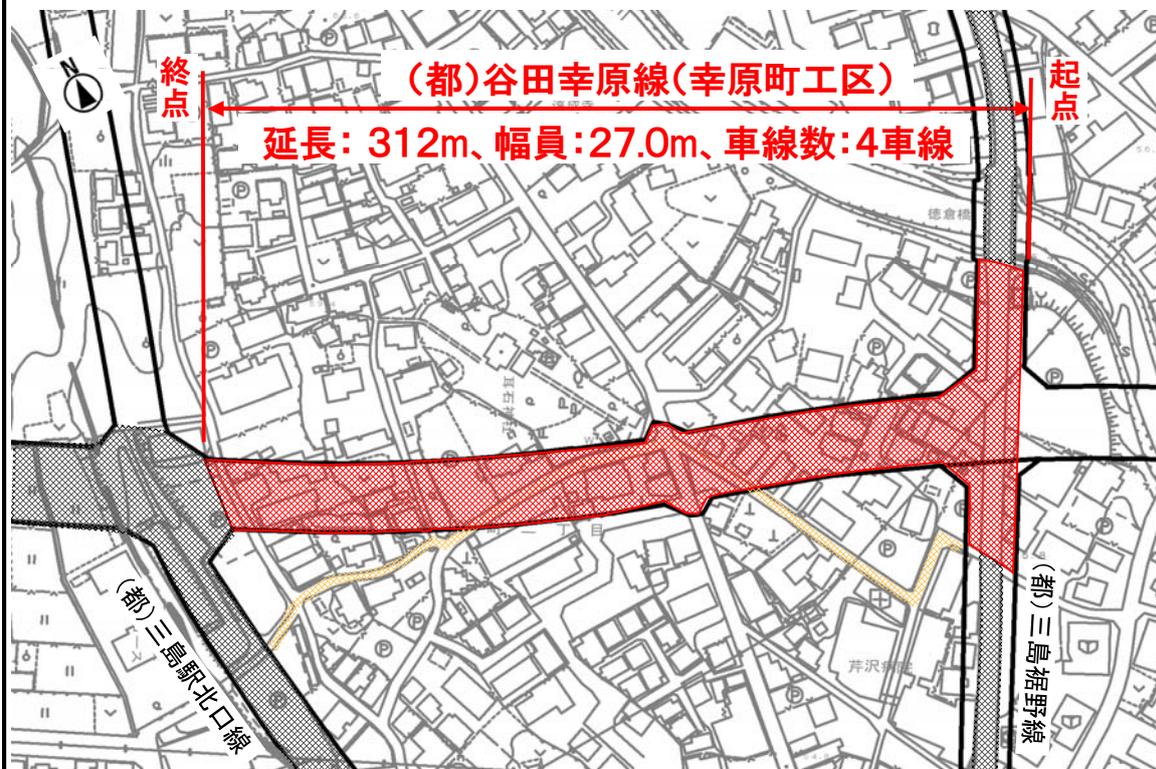


【位置図】

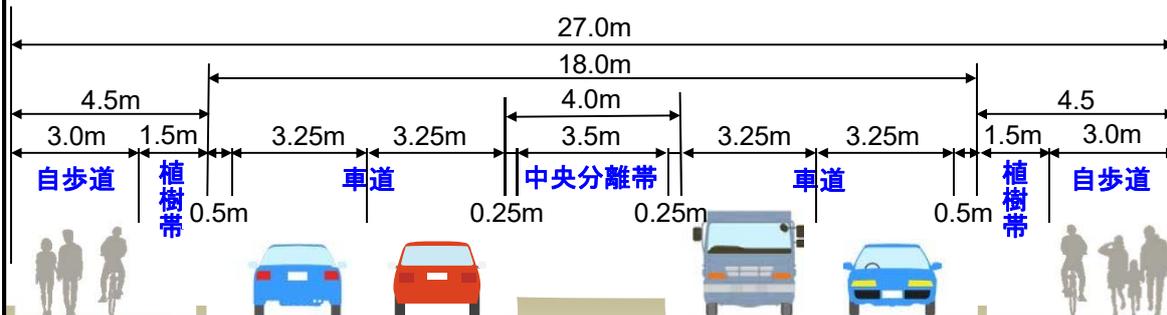


- 凡例
- 事業区間
  - 高速道路
  - 国道
  - 県道
  - 都市計画道路
  - 整備中

## 【計画平面図】

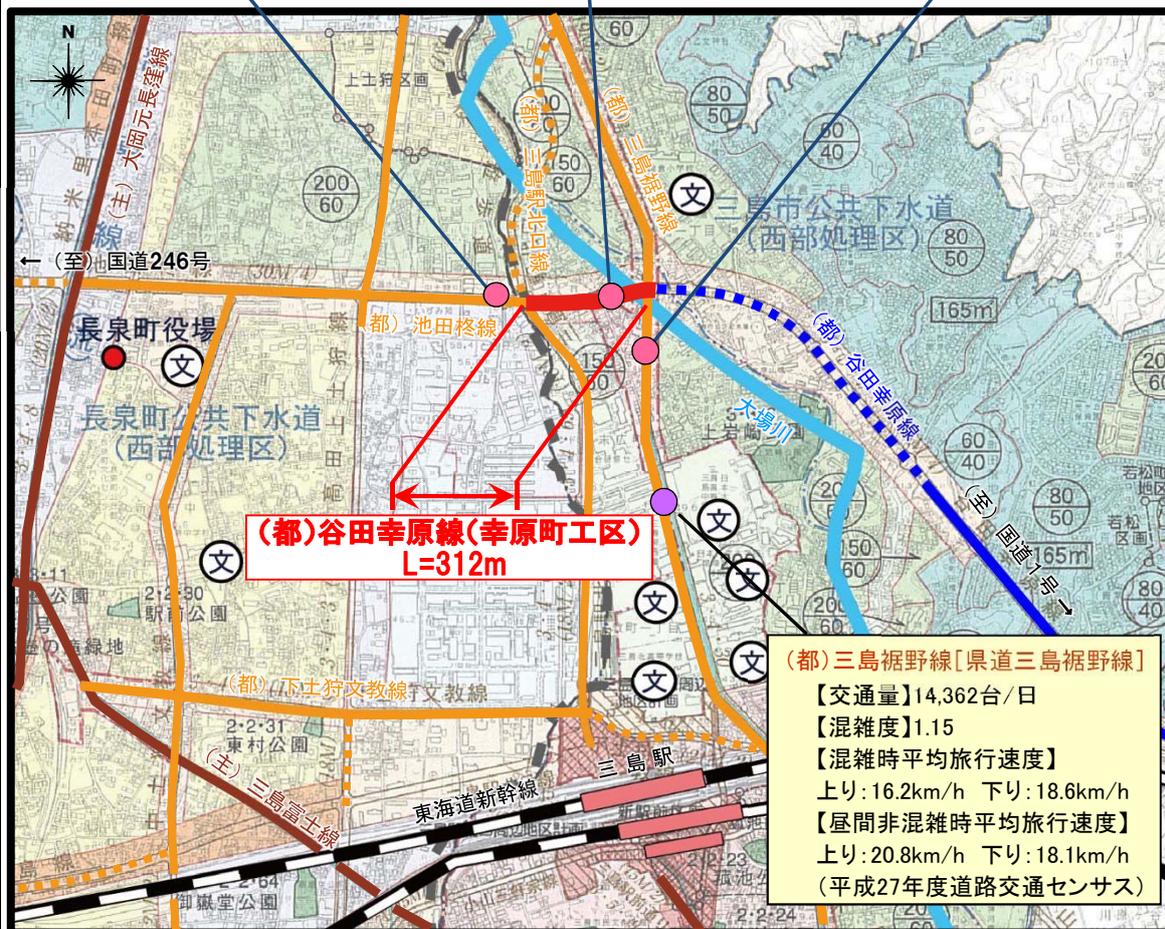


## 【標準横断面図】



## ◆周辺の道路状況

- 南北道路は整備が進んでいるものの、東西方向の道路について整備が遅れているため、既存の東西道路に向かう交通が南北軸の（都）三島裾野線に集中し、渋滞が発生している。
- 本路線に並行する市道などの生活道路に通過交通が入り込み、自転車や歩行者が関係する交通事故が発生するなど、歩行者等の安全が確保されていない。



# ◆事業の進捗状況

## 【用地補償の進捗状況】

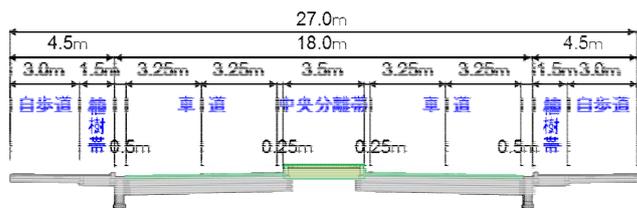


【用地面積】100% (令和2年度末見込み)

## 【工事の進捗状況】



横断面図(③付近)



【事業費】87.8% (令和2年度末見込み)